

令和6年度 年間授業計画

東京都立科学技術高等学校

教科	科目	科学技術科
保健体育	保健	
学年	単位数	
2学年	1単位	
教科担当者		
浅倉 鳥居		
使用教科書		
現代高等保健体育(大修館)		

教科の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元名： (3)生涯を通じる健康 ア. 生涯の各段階における健康 【知識及び技能】 ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組むことができる。	・指導事項 ㊦思春期と健康 ㊧結婚生活と健康 ㊨加齢と健康 ・教材：自作作成プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を言ったり書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
単元名： (3)生涯を通じる健康 イ. 労働と健康 【知識及び技能】 ・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する障害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理を必要とする事理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を通じる健康について、自他や社会の課題の解決解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、書いたりして、道筋を立てて説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組むことができる。	・指導事項 ㊦労働災害と健康 ㊧働く人の健康の保持増進 ・教材：自作作成プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する障害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・生涯を通じる健康について、自他や社会の課題の解決解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、書いたりして、道筋を立てて説明しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	
定期考査			○	○	○	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	
2 学 期	単元名： (4)健康を支える環境づくり ア. 環境と健康 【知識及び技能】 ・環境の汚染と健康、環境と健康に関わる対策、環境衛生に関わる活動について、理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・環境と健康に関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・環境の汚染と健康、環境と健康に関わる対策、環境衛生に関わる活動について、主体的に取り組むことができる。	・指導事項 ㊦環境の汚染と健康 ㊧環境と健康に関わる対策 ㊨環境衛生に関わる活動 ・教材：自校作成プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・環境の汚染と健康、環境と健康に関わる対策、環境衛生に関わる活動について、理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・環境と健康に関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・環境の汚染と健康、環境と健康に関わる対策、環境衛生に関わる活動について、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	単元名： (4)健康を支える環境づくり イ. 食品と健康 【知識及び技能】 ・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・食品の安全性、食品衛生に関わる活動について、主体的に取り組むことができる。	・指導事項 ㊦食品の安全性 ㊧食品衛生に関わる活動 ・教材：自校作成プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食品の安全性、食品衛生に関わる活動について、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	
	単元名： (4)健康を支える環境づくり ウ. 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 【知識及び技能】 ・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること。また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら生活の質の向上のために利用の仕方を整理することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・我が国の保健・医療制度、地域の保健・医療機関の活用、医薬品の制度とその活用について、主体的に取り組むことができる。	・指導事項 ㊦我が国の保健・医療制度 ㊧地域の保健・医療機関の活用 ㊨医薬品の制度とその活用 ・教材：自校作成プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること。また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら生活の質の向上のために利用の仕方を整理しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・我が国の保健・医療制度、地域の保健・医療機関の活用、医薬品の制度とその活用について、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	
	定期考査						

